

『一つの心で一つの道を歩む』 エレミヤ書 32章33～42節 2015.7.12(主日礼拝説教より)

『…わたしは、いつもわたしを恐れさせるため、彼らと彼らの後の子らの幸福のために、彼らに一つの心と一つの道を与え、わたしが彼らから離れず、彼らを幸福にするため、彼らととこしえの契約を結ぶ。』 エレミヤ書 32:39～40

エルサレム陥落直前、神はエレミヤに故郷アナトテの畑をかうように促す。抗議するエレミヤに神は、「(やがて人々を)集め、帰らせ、住ませ(36～37 節)」と神の回復を約束。エレミヤは御言葉に従い、土地を買い、購入証書を保管した。◆時に神は私たちの理解を超えた御心を告げ、従うかどうかの信仰を迫る。そもそも「神の御心」とは何か?いかにしてそれを知る?一つの考え方は、あなたが置かれている『今』が全て御心ではないのか?今抱えている悩み、痛み、苦しきさえも含めて…。上記の土地の買戻しを規定したレビ記 25 章で神は『土地はわたしのもの…(23 節)』と語る。土地は自分のもの?バビロンのもの?否!神のもの!と宣言。『金もわがもの、銀もわがもの(ハガイ書 2:8)』と言われるお方は、『あなたはわたしのもの(イザヤ書 43:1)』と告げる。神に創られ、愛され、導かれている私たちが、どんな境遇においても、そこに神の守りを認め、批判や困難の中にも御心を信じて御前に歩み、絶望的な状況でも神に支えられ、その最善を信じて感謝できる。これが神の民の生涯!◆神は『あなたを幸福にする…』と 32:39～42 で3回も繰り返す、そのために『彼らに一つの心と一つの道を与える(39 節)』と語る。人が幸福でないのは心が一つでないから!イエス様が言われた「何を食べるか、何を着るか」と心配するな(マタイ 6:31)」の『心配(ムナオ-)』とは『分裂している』の意。あれもこれもと心乱すうちに優先順位も大切なものも見失う!神が『わたしは彼らに、わたしが主であることを知る心を与え(エレミヤ 24:7)』、『わたしの律法を彼らの心に書きしるす(31:33)』と言われる時、神の愛(律法)が心に刻まれ、あらゆる境遇で心が一つに定まる。

『一つの道』とは、イエス・キリストと共に歩み進む御国への一本道のこと。人生は、落胆の沼にはまり、絶望の牢に囚われ、試練の川を渡るが、神の愛から右にも左にも逸れないように、主が私たちから離れず、今日も導いて下さる。